

平成24年度 兵庫県立人と自然の博物館協議会

日時 平成25年3月22日（金）14：00～17：00
場所 県立人と自然の博物館 大セミナー室

1 開 会

2 挨 捭

岩瀬館長

3 議 事

(1) 報告事項

博物館の活動について 田中次長
平成24年度の活動状況について 高橋部長
(20周年記念事業)

JST「ネットワーク形成先進的科学館連携推進型」
事業について 古谷キッズひはく推進室長

(2) 施設見学

ひはく多様性フロアについて 橋本生涯学習推進室長
「ゆめはく」について 石田地域展開推進室長

(3) 質疑・意見

・委員 人博の入館者数（他施設）の増加はすばらしいが、増加の理由は何か。

・博物館 2年ほど前から道の駅、淡路ハイウェイオアシスに出かけて活動しており、人が集まる場所を開拓して活動しているため。

・委員 人が来るのを待つだけでなく、来ない所にはこちらから出かけて行くことが大切。移動博物館のプラス面とマイナス面を教えてほしい。

・博物館 プラス面は、単に物を見せるだけでなく、来てくれる人と直接話して知識を伝え、次の人に呼ぶのに繋げていくことができること。
マイナス面は労力がかかること。

・委員 恐竜発掘調査が来年度から方向性が変わると聞いているがどのように変わるのがか。

・博物館 クリーニング作業、資料整理に集中し、今後の発掘調査については、今後内部で十分検討して行く。（決して発掘調査そのものを中止するわけではない。）

・委員 共生のひろばでの発表団体、内容を教えてほしい。

・博物館 団体、市民サークル、学生、学校のクラブなどが、身近な生物の観察の事例、石ころ、岩石の紹介、環境美化など町の問題点を発表している。

・博物館大切なのはその発表が文書として残り、冊子となることである。

- ・委員 移動博物館車には研究員が直接乗っていくのか。
- ・博物館 研究員が自ら運転し、直接行って説明している。
- ・委員 常設展示においては、作品を単に並べるのではなく、その作品を通して見る人にいろいろその先を想像させたり考えさせたりすることが重要。又、インターパリテーションの工夫はどのようにしているのか。
- ・博物館 展示説明等のためのスキルアップは研究員自身も行っているが、数年前から地域研究員、ボランティアの連携活動グループなど、多様な説明ができるパートナーの育成に努めている。
- ・委員 ジャンルを解りやすく編集し説明するように、ソフト面を充実する機能を持たせることが大切。
- ・委員 移動博物館車「ゆめはく」の来年度の予約状況はどうか、
- ・博物館 現在、約20件の予約が入っている。
- ・委員 現在で、もう20件の予約は多いが、移動博物館車「ゆめはく」のアピールのため広報活動が大切。
- ・博物館 移動博物館車「ゆめはく」は3月26日と27日に東北地方へ行くことになるが、その際にサンテレビが同行取材することになっている。
- ・委員 実物の化石等を移動博物館車「ゆめはく」に積んで持ち出すことはないのか。
- ・博物館 レプリカは持ち出しが、丹波恐竜化石発掘調査で発掘した化石などの貴重なものは現物は持ち出さない。
- ・委員 20周年を迎えて当初の目標設定は計画どおり実行できましたか。
- ・博物館 計画行為は順調に進んできた。20周年を踏まえての人博の将来構想を含め、これから先21年目以降良い形で推移していくと考えている。
- ・委員 山陰海岸国立公園が来年度50周年を迎えるが、人博として協力の予定はあるのか。
- ・博物館 ジオパークキャラバンとして5回以上の出動を予定している。
- ・委員 常設展示のリニューアルの予定はあるか。
- ・博物館 少しづつ、リサイクルを重ね、新館構想も踏まえて実施することを計画している。
- ・委員 多様性フロアはどのように使用されているのか。

- ・博物館 30回以上のオープンセミナーを多様性フロアで実施することになっている。研究員以外でもフロアースタッフ、人と自然の会などが各ターゲットを絞って活動できる場所として活用されはじめている。
- ・委員 機会があれば移動博物館車「ゆめはく」を連携活動グループにも活用させていただきたい。
- ・委員 演示のスキルアップはどのようにになっているか、
- ・博物館 実際に自分自身の体験を通してスキルアップを図っている。
- ・博物館 実体験と別の物に置き換えての説明（例えば食を通して、はぐく製の説明）など工夫している。
- ・委員 キッズひとはく大使は小さい子供の時から家族で博物館に興味・関心を持てる素晴らしい取組みであるが、来年の予定はどうか
- ・博物館 来年は検討中であるが、あらゆる形でつながりを持っていくように考えている。
- ・委員 高齢者大学の人を活用しての活動にはプログラムが重要である。（興味関心を繋げていくための）
- ・委員 キッズ人博推進室はJST事業が終了しても継続するのか。
- ・博物館 JST事業は最長5年で終了であるが、キッズ人博推進室は継続する方向である。

5 閉会

6 施設見学 ひとはく多様性フロア

移動博物館車「ゆめはく」